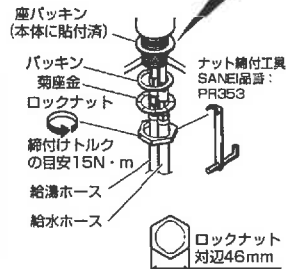


注意

- カウンター穴中央に施工してください。
座バック金が穴からずれると漏水の原因になります。
- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。

アドバイス

ロックナットを給水・給湯ホースに入れる際は、ホースをずらして入れてください。

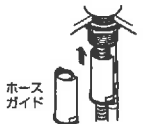


注意

- 取付時にレバーやシャワー受(本体)など可動部分を持たないでください。
破壊のおそれがあります。
- 緩みがないように確実に締めてください。
ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- バック金が入っていることを確認してください。
バック金が入っていないと水漏れのおそれがあります。

注意

ホースガイドの抜け注意
施工時にホースガイドが抜けている場合は、取付足にはめ込んでください。シャワーヘッドがスムーズに引き出せない事があります。



6 UFBアダプターをシャワーホースに取付けます。

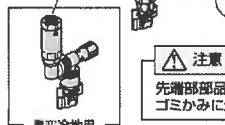
①ブライヤーなどで固定



注意

金具(ローレット)部分をつかむ(傷がつかないようタオルなどを挟む)

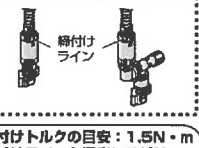
②回らなくなるまで締め付け



注意

先端部品のオリングの傷、ゴミに注意してください。

③モンキーレンチなどで確実に締付け



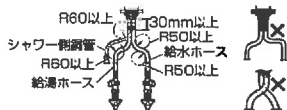
締付けトルクの目安: 1.5N・m
締付けラインを目安に締付け

注意

銅管・ホース施工上の注意

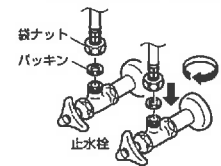
- シャワー側銅管は取付足端間から30mm以上のストレート部を確保し、曲げてください。
給水・給湯側銅管は曲げないでください。
- 銅管の最小曲げ半径80mm。
ホースの最小曲げ半径50mm。
- 銅管・ホースの過度な屈曲、過度な引っ張り、銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。

摩耗による外傷で銅管・ホースの性能劣化より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
また、銅管・ホースが折れた状態でご使用された場合、十分な流量を得られないおそれがあります。



7 給水・給湯ホースを取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから、止水栓などに固定してください。



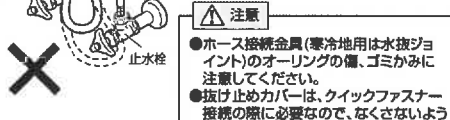
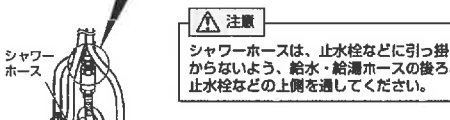
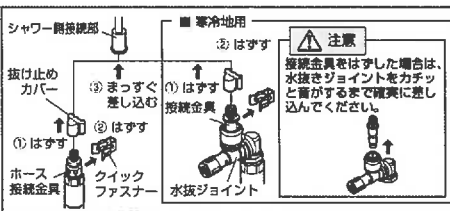
注意

- 鎖ナットは、ゆるみがないように確実に締めてください。
鎖ナットが確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- バック金が入っていることを確認してください。
バック金が入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

※締付けトルクの目安: 24.5N・m

8 シャワーホースを接続します。

- (1) ホース接続金具(寒冷地用は水抜ジョイント)の抜け止めカバーとクイックファスナーをはずし、シャワー側接続部とホース接続金具のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。



注意

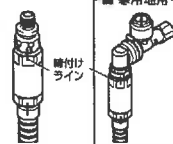
シャワーホースは、止水栓などに引っ掛からないよう、給水・給湯ホースの後ろ、止水栓などの上側を通してください。

注意

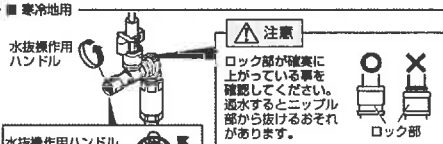
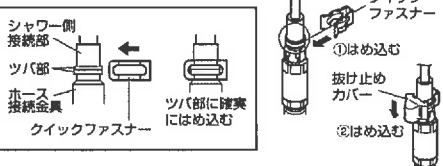
- ホース接続金具(寒冷地用は水抜ジョイント)のオリングの傷、ゴミに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナーを接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。

注意

ホース接続金具(寒冷地用は水抜ジョイント)とUFBアダプターをはずした場合は、回らなくなるまで締付けた後、工具などで確実に締付けてください。
(締付けトルクの目安: 1.5N・m
締付けラインを目安に締付けてください。)

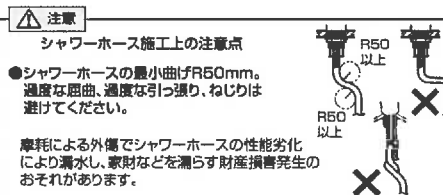


- (2) クイックファスナーをシャワー側接続部とホース接続金具のツバ部に確実ににはめ込んでください。
次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。

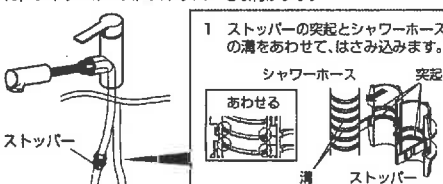


注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- シャワーホースを下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。
- シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースを左右に広げて、シャワーホースの通る空間を確保してください。
銅管に引っ掛かる場合は、銅管を曲がらない程度に広げてください。



(3) シャワーホースにストッパーを取付けます。



※ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。

9 施工後、下記項目を点検してください。

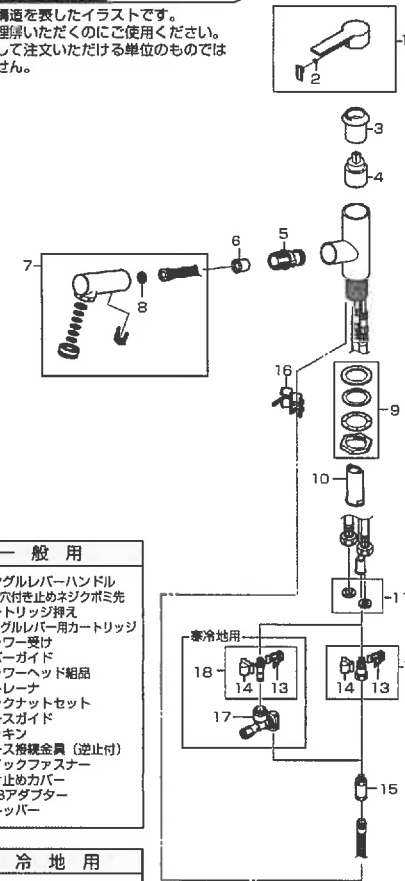
- ・各部にガタツキがないことを確認する。
- ・止水栓を全開にして各部に水漏れがないことを確認する。

確認
ガタツキがないこと
水漏れがないこと



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。
※製品として注文いただける単位のものではありません。



1. シングルレバーハンドル
2. 六角穴付き止めネジボルト
3. カートリッジ挿入
4. シングルレバー用カートリッジ
5. シャワー受け
6. カバーガイド
7. シャワーヘッド製品
8. ストレーナー
9. ロックナットセット
10. ホースガイド
11. バック金
12. ホース接続金具(逆止付)
13. クイックファスナー
14. 抜け止めカバー
15. UFBアダプター
16. ストッパー

寒冷地用

17. 水抜ジョイント
18. 接続金具製品

SANEI 株式会社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

シングルスプレー洗面混合栓 (FB) K37532E6J-RJ-TN (寒冷地用 K37532E6J-RJ-TCN)

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

※ 各部の名称については、施工説明書「各部の名称」を参照ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、重大な結果(傷害・物損)に結びつくおそれがあります。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれがあります。」
注意 「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」
禁止 「禁止」
指示 「指示を守る」
接触禁止 「接触禁止」
分解禁止 「分解禁止」

警告

- 小さいお子様だけの使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (給湯機の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 吐水口には高温の湯(80℃より高温)を過さないでください。給湯温度が60℃より高温の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調整してください。シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、高温でご使用をおすすめします。
- 水栓の左側には直接肌を触れないでください。給湯機のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いのときは、シャワーホースに直接肌を触れないでください。シャワーホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
- お使いになる前に、レバーの位置を確認してから吐水してください。湯が沸騰して、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。湯を使うときは、水から吐水して、その後ゆっくりお好みの温度に調整してください。
- 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
- 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

警告

- 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (寒冷地用の場合) 水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜き部を開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- (樹脂メッキ付部品の場合) 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
 - 鋭利な物を当てる
 - 衝撃を与える
 - 落とす
 【樹脂メッキ部品の例】
 ・シャワーヘッド(切替)
 ・シャワー受(本体)
 など
- レバーは、ゆっくり動かしてください。レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- シャワー受先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。腐食、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。
- シャワーヘッドをシャワー受に収めた状態でシャワーヘッドを回さないでください。シャワーヘッドがはずれ、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- シャワーホースやシャワー受、レバー部に水をかけないでください。水が漏れて濡し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- レバー部に水をかけないでください。レバー部に洗剤などが混入すると、レバー動作が重くなるおそれがあります。布などを使って拭きあげてください。
- シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースを浸け込んでください。汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝って落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。(「凍結予防について」参照) 凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に近接しないでください。水栓が故障で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。漏水などの事故の原因になります。

ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。

温度調節

レバーを右にまわす → 水
レバーを左にまわす → 次調に温度が上がる

エコになるしくみ

上記位置にクリックを設けることで、中央位置で上げた際に湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。

吐水・止水

レバーを上げる → 吐水
レバーを下げる → 止水

吐水

止水

レバーを上げるほど水量が多くなります。 ※吐水中に音がする場合は、止水栓をしぼって水量を調節してください。

温度調節が難しいときは?

温度調節が難しいときは、次の方法で調整しやすくなることがあります。

●給湯温度を下げる。 ●水栓の止水栓をしぼる。

高温の湯が出ないときは?

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。

注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで湯側に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水道の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを完全に(吐水量を多く)するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について シャワーの使用法

シャワーヘッド(切替)で整流吐水・シャワー吐水に切替ができます。

■整流吐水... 切替レバーを右にまわす。 ■シャワー吐水... 切替レバーを左にまわす。

注意

シャワー使用後に水滴がしばらく落ちる場合、通常は排水板の表面張力によりシャワーヘッド内に留まった残留水で、問題ありません。(振動などの気圧変化で表面張力が弱くなり、残留水がポタポタと流れ出る場合があります。) いつもポタポタ出ている場合は、閉め方が不十分か、止水部の故障です。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

シャワーヘッド(切替) シャワー受(本体)は動きません。 シャワーヘッド(切替)

吐水角度の調節

収納位置は3方向選べます。 ※収納時は回転できません。

注意

- シャワーホースが止まる程度まで引き出すとスムーズに張らない場合があります。
- ホースがたるんだ場合は、ホースを手を添えて収納します。
- カウンター下などの収納物は、シャワーホースが当たらない位置に移動してください。収納性に影響を与える場合があります。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で拭き取り、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布に沾せ拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ・特に酸性洗剤はメッキを傷めます。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー
 - ・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンザーなどの粒の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど
- 製品が割れや変色変質の原因となります。
- レバー部に水をかけないでください。レバー部より洗剤などが混入すると、レバー動作が重くなるおそれがあります。布などを使って拭き上げてください。
- 洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。

日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できなくなります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し水道の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 レバーを下げ、止水します。
- 2 シャワーホース接続部・シャワー板をはずします。
- 3 ハブラシなどで細部分・シャワー板を掃除します。

1 止水

2 シャワーヘッド(切替) ストレーナ 2 ホース止め

パッキン 納(5枚) シャワー板 精密ドライバーなど

3 掃除

同様の取り外し用工具先をシャワー板のくぼみに合わせて差し込んで、回してください。

- 注意**
- シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。
 - ホース止めを取外す際は清掃より細いドライバーを使用してください。
 - シャワー板を取り付ける際はパッキンがずれないようにご注意ください。パッキンがずれると切替不良になるおそれがあります。
 - パッキン、オリングの腐、ゴミなどに注意してください。
 - シャワー板を取り付ける際は、部品の順序間違えに注意してください。

再使用時
シャワーヘッド(切替)・ホース止め・シャワー板が確実に閉まっているか確認してください。

凍結予防について 一般用の場合

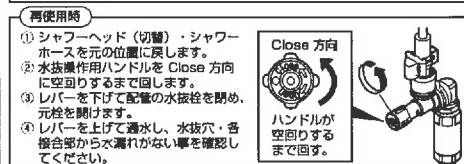
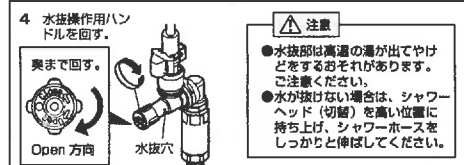
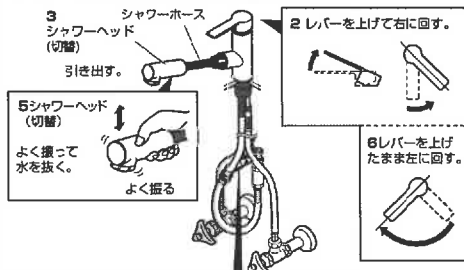
一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
 - 配管部などに保冷材を巻いてください。
 - 窓の隙を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
 - お風呂による破損は保証期間内でも有料修理となります。
-
- 窓を閉めるなど
- 湯の当たりとクリックの音で出す
- 少量の水を出すなど

凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜き）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を開け、配管の水抜きを開けます。
- 2 レバーを上げ、右側へは戻しに回します。
- 3 シャワーホースを引出し、右側へは戻しに回します。
- 4 水抜き作用ハンドルを Open 方向に回して、ホース内の水を抜きます。
- 5 シャワーヘッド（切替）をよく振って水を抜きます。
- 6 レバーを上げたまま、左側へは戻しに回します。

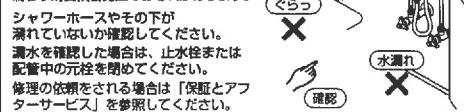


定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あが固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガッツキ

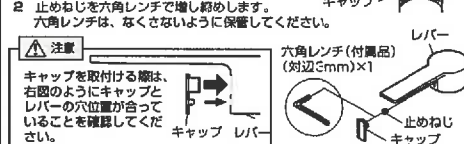
定期的に、配管周りの水漏れがないか・器具のガッツキがないか確認してください。（年2回を目安）劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財源損害発生のおそれがあります。



定期的な点検 レバーのガッツキ

レバーががたつき、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

- 1 キャップをマイナスドライバーなどで外します。＊レバーに傷が付かないよう、ドライバー先端にセロハンテープを貼ってください。
- 2 止めねじを六角レンチで締め締めます。六角レンチは、なるべくように保管してください。



以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

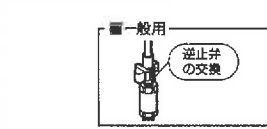
定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財源損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐出した水が逆流するおそれがあります。



＊交換時期は、使用環境などにより異なります。＊シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
高圧感がない	ゴミまわりはありますか。	ストレーナー・吐水口の掃除をする。
低圧感がない	水漏れの止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
流量が不安定	給湯量から漏れが起きていますか。	給湯量の設定温度・動作を確認する。
流量が不安定	清潔・水漏れの止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
流量が不安定	給湯量から漏れが起きていますか。	給湯量の設定温度・動作を確認する。
流量が不安定	ゴミまわりはありますか。	ストレーナー・吐水口の掃除をする。
流量が不安定	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
流量が不安定	レバーは下まで下がっていますか。	レバーを下まで下げてください。
流量が不安定	シャワーヘッドから水漏れが起きている場合があります。	シャワーヘッドの交換が必要です。
流量が不安定	シャワーヘッドから水漏れが起きている場合があります。	シャワーヘッドの交換が必要です。

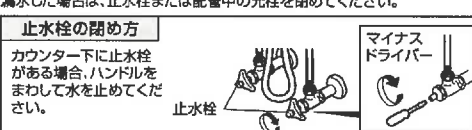
以上の点検を実施しても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミがみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルレバーカートリッジを交換してください。
止しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミがみのおそれがあります。シングルレバーカートリッジを交換してください。
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を開けてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

＊元栓を開ける前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

＊元栓は近くの水栓などから給水が止まっていることを確認してください。

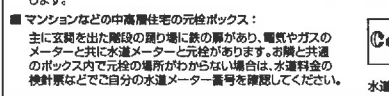
＊一部の地域では左回しの場合があります。

＊元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：主に玄関やガレージ付近の地面にあります。

＊元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：主に玄関を出た階下の廊下などに鉄の扉があり、電圧やガスなどのメーターと共に水道メーターがあります。おおよそ水道のボックス内で元栓の場所がわかる場合は、水道料金の検算などで自分の水道メーター番号を確認してください。



保証とアフターサービス

【保証について】

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の内容にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考慮、早く（3～5年）の点検・交換をおすすめします。（交換時期は、使用環境などにより異なります。）

定期点検・部品交換

使用年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お 客 様 による 日 常 の お 手 入 れ ・ 点 検												
摩 耗 劣 化 部 品 の 交 換												
買 替 え 検 討												

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に磨耗する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことを指します。

摩耗劣化部品の例：シングルカートリッジ、逆止弁・シャワーホース など

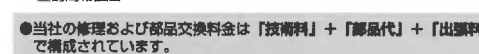
部品が摩耗劣化するとして操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

【補修用部品の供給期間】

この製品の補修用部品（機能維持のために必要な部品）であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの（例）の供給期間は製造中止後10年です。

【修理の依頼と部品交換の依頼について】

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 製品名、品番
 - お買上げ（お取付け）年月日
 - 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼
 - 訪問希望日



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。

「技術料」：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」：修理および部品交換に使用した部品代。

（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）

「出張料」：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
- ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で保証書を作成していただく事を約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品 番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）
	本 体	2年
お買上げ日（お取付け日）		年 月 日
見 本		
販売店	店名	住所
工事店	電話	()

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意事項に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. 保証書、ご希望品など本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 凍結、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雪、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電圧（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築様式の劣化（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の劣化及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物混入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の表示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは文字の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問い合わせください。
- ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒637-0023 大阪府東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00～17:00（土日祝除く）

ホームページ www.sanei.co.jp